図書館題信

第 26 号 1 1 月 1 8 日 (火) 名 古 屋 経 済 大 学 高蔵高等学校・中学校 発行

月別「企画展示」のコーナーを紹介します





「校内読書週間」が先週、無事に終わりました。 期間中に来館された皆さま、ありがとうございま した。今月末に開催される「学校見学会」・「学校 説明会」でも、図書委員の制作した POP 企画を展 示することになりました。引き続き、皆さまの来 館をお待ちしています。

少し遅くなりましたが、11月の「企画展示」を紹介します。今月の「企画展示」テーマは、**「戦後80年を迎えて」**です。主に日本の「戦後80年」に関係する本を展示しています。ぜひ、手に取ってみてください。





展示本の中でおもしろかったものがあります。七尾和晃『戦場の人事係 玉砕を許されなかったある兵士の「戦い」』(草思社、2024 年)です。部隊の「人事係」として、沖縄戦で従軍した石井耕一(豊栄市元市長)への取材を通して、彼の戦場体験や戦後の活動などを描いた作品です。石井は沖縄戦の最終盤、「自爆決死の斬り込みのかたわらで」、上官から最後の命令「生きて伝えよ」を受けました。命を永らえた石井は戦後、戦友の遺された家族へ、彼らの「最期の瞬間」を伝えていきました。そんな活動を続ける中、石井がたどり着いた境地が、次のように記されています。「自分が伝えるべきは、美しい死ではない。戦場において、人間の命は限りなく無常なものであること。悲劇に理由などないこと。その惨状そのまま、包み隠さず遺され

<u>た人たちに伝えるべきな</u>のだ」。

戦争するための大義名分が、あれこれと考えられるけれども、戦場に赴いた者からすれば、そんなものには全く意味がない。戦場にあるのは、人のむごたらしい死のみ。それを肯定することはあり得ない。石井の思いから反戦への強い決意を読み取れると感じました。







愛知県議会では、定例議会・臨時議会の都度、愛知県議会 ニュースを作成しています。

審議結果等に加え、議会のしくみなどを紹介する「一口メモ」 もありますので、ぜひ御覧ください。

デジタル版はコチラから →



今まであまり紹介したことがないのですが、「愛知県議会ニュース」紙版が、学校に届きました。図書館に置いてあるので、興味のある人は自由にお持ちください。合わせて、「県議会ニュース」デジタル版の案内もありましたので、紹介します。ご覧ください。